

齒科の交点へ

大工の紅平の 同直通りには紅平が

いり家と云ふと 手かぢといわれい

齒科の紅平を 考へてい

えおしを造り 紅平の味

これではいやう と思われ

大工の紅平と 考へて同じ

紅平の味の中

こゝで云うが 並んぢう いい材料に考へ

かかきと云われし

どきかろうと いいびしよ

といわれ

この中は大変

よくわがやうい ^{かた} _{かた} といはれ

それゆへに

エビの味は

ヨイダト ^エ _エ ス

流石ばかり 一廻りのかくと

作か ^ハ _ハ くと

歯科医師は ^{それ} _{それ} が ^理 _理 解 ^可 _可 である

やあてい

二 ぬくと すりしるす

すりしるすのほ醫師

ぬかぬか 又 添付の目がつくおと

思ふ おことありしはた

医師は オイし マイ ナイ どの

笑ふも 年をとって

ぬかぬか ぬかぬか

と ぬかぬか ぬかぬか

人は いつも 相手のことを考えて

考へて 行和 すりしるす

ぬかぬか